



第10回 静岡県 児童発達支援・子どもフォーラム

主催 静岡県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会

『困難度の高い子どもと家族・地域への支援を考える』

～2次障害の予防・子どもがこどもらしく育つには何が大事か～

これまで開催してきた子どもフォーラムも、今年で10回目を迎えることとなりました。こども家庭庁がスタートし、こども基本法・こども大綱・「こどもまんなか社会」と、こどもを中心にした「人権モデル」で考え進めて行く時代の中、“こどもの声を聴く”“ことがますます求められるようになりました。私たちは「どのようにこどもの声を聴いていくのか？」そのことへの試行錯誤が各現場で行われています。中でも困難度の高い子どもへの支援は、皆で考え合える場がことさら大事です。今回のフォーラムでは、「困難度の高い子どもと、家族・地域への支援」に焦点を当て、“2次障害の予防や子どもがこどもらしく育っていく”ための支援について、各地域の実践を通じて、自分たちの支援を見つめ、深めるため、共に学び合う機会としたいと思います。

今回も講演では、こども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐/統括専門官 鈴木久也氏と、過去に厚生労働省の障害児支援専門官のご経験や全国の情報を知っておられる光真坊浩史氏にご登壇いただき、こどもまんなかにした支援の方向性やあり方等について貴重なお話を伺います。どうぞ、関係機関の皆様のご参加をお願いいたします。

記

日 時) **令和8年3月21日(土曜日) 10:00~17:00**
会 場) **静岡県総合社会福祉会館 シズウエル 703** 定員) **140名**

参加費) **1,000円** (昼食は各自ご用意ください)

内 容) 9:30~ 受付

10:00~静岡県 行政説明 (静岡県健康福祉部障害者支援局)

10:20~こども家庭庁 行政説明

「こどもまんなか 未来に向かって 発達支援のすがた」

～国の施策とめざす社会を語る+R9年度報酬改定について～

鈴木 久也氏 (こども家庭庁障害児支援課 課長補佐/統括専門官)

12:00~休憩

13:00~各地域・事業所からの実践発表 (進行:大石 明利氏)

児童発達支援センター 富士市立こども発達センター みはら園 「感情のコントロールがうまくいかない子どもの支援から見たこと・考えたこと」	障害児入所施設 浜松市 あさぎり 「家庭で大きな喪失体験を経て入所した高等部男児。不安や怒りの感情から物の破損や無断外出、不登校に。これからどうやって暮らしていくのか、本人と一緒に考えた成長の支援計画から見たこと」
放課後等デイサービス 静岡市 わかたけ 「18歳双子 出来ていたことができなくなる(トイレでの排泄困難、全裸になってしまう) 行動への支援のなかで私たちが大事にしたこと」	相談支援事業所 浜松市障がい者基幹相談支援センター 「浜松市における強度行動障がいの状況にあるお子さんへの支援を通して地域でのチーム支援について考えたこと」

会場との 質疑・応答・意見交換

14:50～ 休憩

15:00～ 講演

「困難度の高いこどもへの支援」

～こども・家族・地域支援・予防的支援を見据えて～

講師：光真坊 浩史氏（全国児童発達支援協議会 理事）

16:30～ 質問・意見交換 大石 明利氏
（元東海大学短期大学部児童教育学科教授）

16:45～ 講評 鈴木 久也氏

17:00 終了

令和7年度 児童発達支援 子どもフォーラム 参加申込

Google フォームからの申し込みとなります。

申込締切日：R8年3月16日（日）

[子どもフォーラム 申し込み - Google フォーム](#)

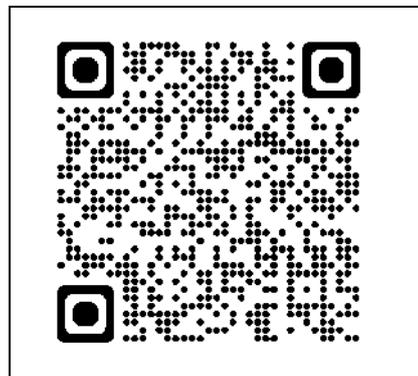
Google フォームに入れる間は、受付中です。

<申込方法>

申込票に必要事項 **各自1名ずつ入力してください。**

<その他>

★資料はメールアドレスに送信します。



資料が必要な方は忘れずに入れてください。（事業所が代表して受け取る場合は1か所のみで大丈夫です）当日は各自資料を印刷してご参加ください。

★電場番号は研修当日つながる連絡先をご記入ください

- ・ 申し込み後の受付完了メールはありません。 お手数ですが電話にてお問い合わせ下さい。
- ・ 資料配布が2日前までにない場合も、ご連絡ください。各自印刷してご参加ください。

事務局：浜松市根洗学園

☎ 053-436-9318（担当：松本・荻原）

✉ nearai@ruby.ocn.ne.jp 件名：子どもフォーラムについて